

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	賑わいをもたらす観光の振興	コード	作成者	役職	まち営業課長
		05-07-28		氏名	梶藤 勲
			電話	0869-64-1832	
			このシート作成に要した時間	6.0 時間	

この施策の アピール ポイント	豊富な観光資源により誘客を行っている。
-----------------------	---------------------

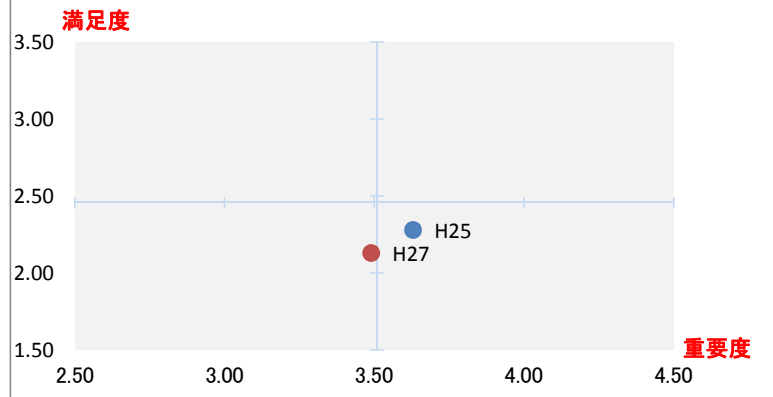
この施策の 平成26年度の 施政方針	賑わいをもたらす観光の振興についてであります。本市の歴史文化、伝統産業など魅力あふれる観光資源を商談会やフェイスブックなどを活用し、国内外へ向けての情報発信を強化してまいります。また、近隣市町や関係団体との広域連携により、多様な資源の有効活用とおもてなしの心の充実を図り、平成26年度末に完成する備前日生大橋を活用した新たな観光ルートを設定するなど、オール備前で市内へのさらなる誘客、滞在時間の延長、消費の拡大を推進するよう営業活動に努めてまいります。
--------------------------	--

＜備前市総合計画の内容から記載する＞

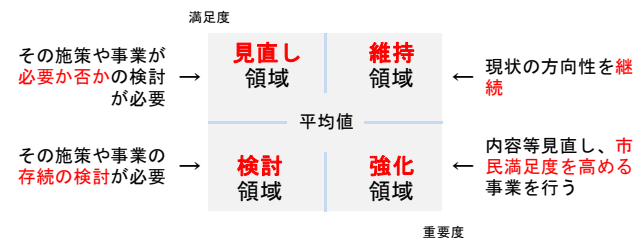
① 政策の体系	基本構想（大項目）	生活環境政策〔快適・活力〕
	基本計画（中項目）	地域の活力を生む産業を振興させるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民、観光事業者、観光関連団体、観光客等を対象に、観光振興による地域活性化を推進し、活力あるまちづくりを目的とする。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	「備前焼」や「カキおこ」などで備前市は全国的に知られているが、観光客の数は年々減少傾向にあります。観光の形態は、観光バスやマイカーで訪れる滞在時間の短い、日帰り・通過型の観光が主流となっているため、これを宿泊型の観光へ転換し、観光消費を拡大していくことが必要。また近年は、地域の人と来訪者との交流も大きな魅力と感ぜられるようになってきており、今後の本市の観光振興では、市民や関係団体と連携して観光交流を推進していくことも重要です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を生かした宿泊型観光の推進 観光情報の発信 おもてなしの心による受け入れ態勢の充実 多様な観光ニーズへの対応 体験型修学旅行の誘致 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25	H27
重要度 (%)	3.63	3.49
満足度 (%)	2.28	2.13



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	備前市の観光資源に対する市民の評価が高く、この政策が市の発展に重要な役割があると考えている。一方で満足度は低く、今後周遊型の観光の開発やおもてなしの心の醸成が求められている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
市内観光施設の入場者数	目標	千人	1,000	1,000	1,000	市内25箇所（H26は、22箇所）の観光施設への入場者数	H27	1,000
	実績	千人	876	644	784		H28	1,000
	達成率	%	87.6	64.4	78.4		H34	1,200
	ベンチマーク						—	—
参考指標①	目標						H27	
	実績						H28	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						—	—
参考指標②	目標						H27	
	実績						H28	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						—	—
参考指標③	目標						H27	
	実績						H28	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
教育委員会	歴史・文化施設等の整備	歴史・文化施設等の本体や案内板、周辺施設を整備することで誘客が図れる。
まち整備課	アクセス道路の整備	大型バスの乗り入れが容易になることにより、バスツアーに組み入れられることで誘客が図れる。
日生・吉永総合支所	各観光施設の整備・維持管理	清潔できれいに施設を整備・維持管理することで、おもてなしの心が伝わり、誘客が図れる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	観光施設の入場者数の増は、観光客数の増加と比例する物であり、成果指標として妥当である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	観光振興を図る上での各種事業構成は、ほぼ適正である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	旧閑谷学校の日本遺産登録などの観光資源にストーリー性を持たせ、市内や東備地域での回遊性を高める上で有効である。	
進行年度(H27年度)の取組内容 (課題解決状況)		東京アンテナショップでのPR事業、備前焼の海外販路開拓に向けての取組、体験型観光の開発、SNS等を活用した情報発信を積極的に行う。	
翌年度(H28年度)の取組目標		頭島、鹿久居島を訪れる観光客へのおもてなし。SNSの利用による情報発信、各種団体との連携強化を図っていく。	
二次評価者コメント		豊富な観光資源を多面的な視点で見直すことで、新たな観光誘客に繋げて下さい。首都圏、関西圏や外国人観光客への情報発信やPR活動を行い誘客に努めて下さい。	基本施策への 貢献度 3 中立
役職	まちづくり部長		
氏名	高橋 昌弘		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位:千円,人)										施策への 貢献度
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
01 観光推進事業	観光動態調査事業	補助	288	81	0.01	216	146	0.03		0	0		☆☆☆
	観光宣伝事業	単市	398	8,312	1.02	1,389	4,662	0.56	3,240	5,910	0.71	2,617	☆☆☆☆☆
	おかやまご当地グルメフェスタin備前事業	単市	4,867	9,655	1.13								* H24終了
	フィルムコミッション事業	単市		56	0.01	1	441	0.06		550	0.11		☆☆
	観光パンフレット等作成事業	単市	1,752	209	0.02	0	97	0.02		0	0		☆☆☆
	観光写真掲出負担金事業	単市	13	293	0.04	60	49	0.01	60	0	0	60	☆☆☆
	イベント参加負担金事業	単市				315	1,021	0.13	864	325	0.03		☆☆☆☆
岡山県アンテナショップ負担金事業	単市							60	80	0.01	180	☆☆☆☆	
02 観光団体等支援事業	備前市観光協会補助事業	単市	786	108	0.01								* H24終了
	日生町観光協会補助事業	単市	1,800	34	0.01								* H24終了
	吉永町観光協会補助事業	単市	180	8	0								* H24終了
	観光協会補助事業	単市				2,766	689	0.07	3,300	475	0.06	3,300	☆☆☆☆☆
	和意谷史跡保存会助成事業	単市	80	5	0	80			80		0	80	☆☆
	八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業	単市	465	22	0	465	109	0.01	454		0	450	☆☆
	県ふるさと村運営協議会会費	単市	90	6	0	90			90		0	90	☆☆☆
03 国立公園等管理事業	夕立受山等管理事業	補助	695	152	0.02	655	260	0.03	869	475	0.06	867	☆☆☆☆
	日生諸島管理業務	補助	0	0	0				0	229	0.02		☆☆☆
	中国自然歩道管理事業	補助	147	0	0	147			153	80	0.01	154	☆☆☆
04 観光施設維持管理事業	閑谷学校駐車場等管理事業	単市	1,397	72	0.01	1,495	106	0.01	1,470	108	0.01	1,442	☆☆☆
	伊部駅南ふるさと交流センター管理運営事業	単市	1,801	137	0.01	1,801	106	0.01	1,800	108	0.01	1,260	☆☆☆
	大滝山上下水道管理組合負担金事業	単市	54	99	0.01	74	106	0.01	114	0	0	50	☆☆
	観光施設・看板等修繕	単市	506	317	0.04	351	211	0.02	454	108	0.01	855	☆☆☆☆
	鮫防護網設置業務	単市	1,657	0	0	1,657	106	0.01	1,295			1,573	☆☆☆
	古代体験の郷まほろば管理運営事業	単市	6,003	599	0.06	5,607	99	0.01	3,889	660	0.06	4,600	☆☆☆☆☆
	日生観光情報センターサンパース管理運営事業	単市	201	100	0.01	410	422	0.04	297	101	0.01	330	☆☆☆☆☆
	ふれあいの館かぜまち管理運営事業	単市	314	100	0.01	300	99	0.01	300	101	0.01	322	☆☆☆
	ふれあい交流館しおまち管理運営事業	単市	561	100	0.01	560	0	0	560	101	0.01	580	☆☆☆
	イルミネーション管理事業	単市	25	100	0.01	1,585	0	0	471	101	0.01	562	☆☆☆
	観光トイレ等管理業務	単市	4,913	499	0.05	2,525	205	0.02	3,255	202	0.02	3,186	☆☆☆☆
	吉永観光案内所管理運営事業	単市	0	0	0	178	62	0.01	21	80	0.01	342	☆☆☆
	八塔寺ふるさと村民族資料館管理運営事業	単市	307	61	0.01	9	0	0	9	0	0	19	☆☆☆☆
	八塔寺山荘管理運営事業	単市	1,422	123	0.02	1,083	185	0.03	1,298	161	0.02	1,091	☆☆☆
	大池緑地公園管理事業	単市	1,762	123	0.02	1,761	62	0.01	1,783	362	0.04	1,861	☆☆
	和意谷管理事業	単市	246	0	0	362	0	0	252	0	0	361	☆☆
	八塔寺ふるさと村等管理事業	単市	2,015	273	0.03	2,629	440	0.05	2,464	850	0.08	2,478	☆☆☆☆
	ダム公園等管理事業	補助	5,570	167	0.02	5,281	124	0.02	6,275	161	0.02	5,533	☆☆☆
	八塔寺ふるさと館管理運営事業	単市	624	290	0.04	1,437	185	0.03	1,688	321	0.04	1,814	☆☆☆☆
	八塔寺ふるさと村景観修景補助事業	単市	-	-	-	-	-	-	196	108	0.01	-	☆☆☆☆
05 観光施設整備事業	観光施設整備事業	単市	8,235	191	0.02				9,420	1432	0.17		☆☆☆☆
	観光看板等整備事業	単市				106	0.01	1,000	108	0.01	600	☆☆☆☆☆	
	海水浴場整備事業	単市	409	0	0	399	198	0.02	978	101	0.01		* H25終了
	観光施設整備工事	単市	0	0	0								* H24終了
06 備前焼振興事業	備前焼伝統産業会館管理運営事業	単市	2,100	109	0.01	2,100	211	0.02	2,100	367	0.05	1,470	☆☆☆☆☆
	備前焼陶友会補助事業	単市	324	8	0	324	211	0.02	500	158	0.02	500	☆☆☆
	備前焼まつり補助事業	単市	2,000	372	0.04	2,000	700	0.09	2,000	433	0.04	0	☆☆☆☆
	備前焼振興対策事業	単市	21	1,920	0.26	8	1,429	0.14	6	1,174	0.13	72	☆☆☆☆
	六古窯サミット事業	単市		59	0.01	0	0	0	0	0	0		☆☆☆☆
	伝統的工芸品産業振興協会会費	単市	50	0	0	50	0	0	50	0	0	50	☆☆☆
	備前焼販路開拓事業補助事業	単市	960	0	0	960	106	0.01	0	0	0		☆☆☆
	備前焼陶芸センター運営補助事業	単市	2,400	18	0	2,000	0	0	2,500	258	0.04	2,500	☆☆☆
07 広域連携事業	J R赤穂線沿線地域活性化事業	単市		0	0	500	154	0.02	500	0	0	500	☆☆☆
	J R赤穂線沿線地域活性化負担金	単市	500	0	0								☆☆☆
	東備広域観光推進協議会運営事業	単市		1,060	0.12	190	1,205	0.13	190	1,008	0.12	190	☆☆☆☆
	東備広域観光推進協議会負担金事業	単市	190	137	0.01								☆☆☆☆
	岡山県観光連盟負担金事業	単市	379	84	0.01	379	613	0.09	379	350	0.07	379	☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位:千円,人)			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			58,507	26,059	3.11	44,199	14,925	1.76	56,684	17,146	2.04	42,318	

備前市事務事業評価シート

事業の概要				
事業開始年度	S46～		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目	05 生活環境政策「快適・活力」	担当課(室)	まち営業課
	中項目	07 地域の活力を生む産業を振興させるまち	職・氏名	ブランド観光係長・川平 昌彦
	小項目	28 賑わいをもたらす観光の振興	電話	64-1832(274)
事務事業名	01 観光推進事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	観光事業者、観光客	
目的(何のために)	観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査を実施し、諸施策への指針として利用するため観光客の動向を調査する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光客数の増加	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	観光動態調査事業	観光客数の実地調査を市内4カ所(閑谷学校、岡山県備前陶芸美術館、日生五味の市、八塔寺ふるさと村)で6日間実施。	○
	観光宣伝事業	教育旅行の誘致活動、旅行関係業者に対する商談会、フェイスブック等各種媒体を利用した観光素材のPR、広告掲載等。	◎	
	フィルムコミッション事業	テレビ、まち歩き旅のロケの支援を行った。	○	
	観光写真掲出負担金事業	観光客や岡山駅地下道を訪れる人々へのPR、啓発のため、岡山駅地下道に観光コルトンを掲出。	○	
	観光パンフレット等作成事業	今年度は備前市の観光パンフレットは作成していないが、他団体、組織が作成するパンフレット等の情報協力を行った。	○	
	イベント参加負担金事業	首都圏や岡山県内の観光PRイベントに出展を行い観光誘客を図る。	◎	
	岡山県アンテナショップ負担金事業	東京アンテナショップ「おかやま・とっとり新橋」に観光パンフレットの設置。	○	

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	7,318	1,981	4,224
	必要人員(人)費		2.23人	0.81人	0.86人
	事業費計		18,606	6,416	6,865
決算額	国県支出金	千円	25,924	8,397	11,089
	受益者負担金		176	132	921
	繰入金債				
	その他()				
一般財源		25,748	8,265	10,168	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	説明		市調査による観光客数市内26カ所の観光施設への入場者数による観光客数		
	結果指標量	人	876,204	644,387	783,687
	対前年比	%	100.0%	73.5%	121.6%
	活動コスト	円	25,924,000	8,397,000	11,089,000
	単位当たりコスト	円	30	13	14

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
		目標値(A)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
観光客数	実績値(B)	876,204	644,387	783,687	到達目標値	
	達成率(B/A)	87.62%	64.44%	78.37%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市内26カ所の観光施設への入場者数による観光客数(H26年度は22カ所の観光客数)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 市民参画度 <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○						
説明	ホームページやSNSなど各種メディア媒体の活用や首都圏でのPRを拡充するなど、本市の観光資源を広くPRし地域の活性化を図る。また、誘客促進に繋がるよう旅行補助等を検討する必要がある。							

総合評価		総合評価	C
人口減少、企業の撤退により観光産業は市の基幹産業であり、市活性化のためにも今後とも創意工夫しながら魅力的な観光誘致に力を入れていく必要がある。		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○						
取組目標	観光PRの推進については、日本遺産に認定された旧閑谷学校や伝統工芸品の備前焼を活用した観光振興に努めるとともに、首都圏でのPR、各メディアの活用や広域連携、SNSの有効活用に努める。また、各種団体と連携・商品造成を図りながら、市全域へ足を運んでくれるよう推進する。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成26年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち
	小項目 施策	28	賑わいをもたらす観光の振興
事務事業名	02	観光団体等支援事業	
問	担当課(室)	まち営業課	
合	職・氏名	ブランド観光係長・川平 昌彦	
先	電話	64-1832(274)	
		このシート作成に要した時間	1.5時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光関連団体
目的(何のために)	観光案内サービス、観光PR活動などに取り組む団体等に、補助金を交付することにより、団体の目的達成のための支援をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光協会利用・案内サービスの増加

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	観光協会への運営に要する費用の一部補助(786,000円)		◎
	和意谷史跡保存会助成事業	和意谷史跡である参道の草刈等に対し保存会へ80,000円補助		▲
	八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業	資料館、公園管理、遊歩道整備等に対して八塔寺ふるさと村運営協議会へ補助。450,000円		◎
	果ふるさと村運営協議会費	備前(八塔寺)津山(大高下)鏡野(越畑)高梁(石火矢、吹屋)吉備中央(円城)笠岡(真鍋島)が加入している。負担金90,000円		▲

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを評価

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	3,401	3,401	3,924
	必要人員	人	0.02人	0.08人	0.06人
	必要人員単価	円	183	798	475
	事業費計	千円	3,584	4,199	4,399
財源	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
その他()					
一般財源			3,584	4,199	4,399
受益者負担比率		%	-	-	-
結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量		0.90	0.91	0.87
	対前年比	%	98.9%	101.1%	95.6%
	活動コスト	円	3,584,000	4,199,000	4,399,000
	単位当たりコスト	円	3,982,222	4,614,286	5,056,322

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	目標値(A)		5,000	5,000	5,000	6,000
	実績値(B)		5,078	4,440	5,174	到達目標値
	達成率(B/A)		101.56%	88.80%	103.48%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
観光協会の窓口対応、電話問い合わせ数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況				○					
	説明	観光協会の統合により市全体の観光案内の連携を図り、行政並びにボランティアガイドと連携しながら効率的な観光推進を行う。							

総合評価		総合評価
各観光協会が一つになり、広域のかつきめ細かな情報提供、観光案内は観光客に求められている。新たな観光協会として関係団体と協力しながら観光推進に取り組むことが重要である。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性			○						
	取組目標								

Action

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	S46~		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	基本構想 05	生活環境政策「快適・活力」		
	中項目	基本計画 07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	問	担当課(室) まち営業課
	小項目	施策 28	賑わいをもたらす観光の振興	先	職・氏名 ブランド観光係長・川平 昌彦 電話 64-1832(274)
事務事業名	03 国立公園等管理事業		このシート作成に要した時間		時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前市を訪れる観光客	
目的(何のために)	観光客増につなげるため、瀬戸内海国立公園、中国自然歩道を有効活用する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	国立公園内の観光地の施設整備を行い、観光客増につなげ、地元経済効果に寄与する。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明		優先度
夕立受山等管理事業	瀬戸内海国立公園日生諸島、夕立受山、吉井川中流県立自然公園の維持管理等。		◎
日生諸島管理業務	訪れる観光客等によりイメージを持っていただくため、日生諸島の観光施設の清掃及び草刈りを実施する。		○
中国自然歩道管理事業	本地域に残された美しい自然の中を歩いて豊かな自然に親しみ、また郷土の歴史文化に触れることを目的とし設置された中国自然歩道の維持管理。		○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	842	802	1,021
	必要人員(人)	人	0.02人	0.03人	0.09人
	必要費用計		994	1,062	1,805
	事業費		756	756	778
決算額	国県支出金				
	受益者負担				
財源	繰入金	千円			
	市債				
一般財源	その他()				
	一般財源		238	306	1,027
受益者負担比率	%		-	-	-

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
説明		国立公園内等施設の延べ維持管理費(清掃、草刈等)回数			
結果指標量			402	403	403
対前年比	%			100.2%	100.0%
活動コスト	円		994,000	1,062,000	1,496,000
単位当たりコスト			2,473	2,635	3,712

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
施設維持管理	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値(A)	適正な管理	適正な管理	適正な管理	適正な管理	適正な管理
	実績値(B)	402	403	403	403	到達目標値
達成率(B/A)		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	毎年度

成果指標設定の考え方・式や説明

事業計画に沿った適正な管理を行う。

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い C	
	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い C	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い C	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C	

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
説明		備前〇日生大橋が開通し、大勢の観光客が訪れている。日生諸島や夕立受山などの瀬戸内海国立公園、八塔寺ふるさと村を含む中国自然歩道の保全のため、既存施設を適正に管理しながら、観光施設としていかに活用するか、その方策を検討する必要がある。							

総合評価		総合評価
国立公園は重要な国民の財産であり、その管理は適正に行わなければならない。施設をきれいに維持管理することで誘客を図るとともに、今後、観光資源としていかに活用していくかを検討していく必要がある。		総合評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い C

平成28年度の方向性・取組目標		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性				○					
取組目標		施設の維持管理に努め、来訪者に気持ちよくお迎えできる状態に管理しておく必要がある。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	S46~		根拠法令・例規等
総合計画	大項目 基本構想	05 生活環境政策「快適・活力」	
	中項目 基本計画	07 地域の活力を生む産業を振興させるまち	問 担当課(室) まち営業課
	小項目 施策	28 賑わいをもたらす観光の振興	合 職・氏名 ブランド観光係長・川平 昌彦
	事務事業名	04 観光施設維持管理事業	先 電 話 64-1832(274)
			このシート作成に要した時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	観光客	
目的(何のために)	市内の観光施設を管理する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者数の増を図る。	

事業の実績				Do
	細事業名	事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	閑谷学校駐車場等管理事業	観光客に対して利便性を目的に設置した駐車場、緑地部分の維持管理等。		◎
	伊部駅南ふもと交流センター管理運営事業	伊部駅南ふもと交流センターの維持管理を行う備前焼陶友会に対する指定管理料。		○
	大滝山上下水道管理組合負担金事業	大滝山福生寺の水道・電気を管理する組合に負担(福寿院、西方院、実相院、備前市)		▲
	観光施設・看板等修繕	観光施設、観光看板の修繕業務。		○
	酸防護網設置業務	頭島外輪、大多府島宮ノ下、鹿久居島まほろ海水浴場の3箇所に設置し、観光客、地域住民に安心して楽しんでもらえる海水浴場に整備する。		▲
	古代体験の賑まほろば管理運営事業	施設の管理運営事業。古代の体験ができる施設で観光振興、青少年の健全育成を図る。		○
	日笠観光情報センターハウス管理運営事業	施設の管理運営事業。日笠の観光情報の窓口として、観光客、地域住民に発信する。		○
	ふれあいの館かざまち管理運営事業	施設の管理運営事業。大多府島唯一の簡易宿泊施設で、地域で管理運営していただくことで、都市住民と地元住民との交流を図る。		○
	ふれあい交流館しおまち管理運営事業	施設の管理運営事業。頭島の定期船待合所及び集会施設で、観光客と地域住民の交流を深めることにより、観光振興を図る。		○
	イルミネーション管理事業	日生へ訪れる観光客等をイルミネーションによりをお出迎えし、おもてなしの一環として管理する。		○
	観光トイレ等管理業務	日生地域にある観光トイレを清掃・維持管理することで、訪れる観光客等によりイメージを持っていただくようにする。		◎
	吉永観光案内所管理運営	観光客等の情報提供の場とし、観光の振興を図ることを目的とし設置された観光案内所の維持管理。		▲
	八塔寺ふるさと村民資料館管理運営事業	昭和初期に使用されていた。庶民生活資料や農機具等の展示施設で、八塔寺ふるさと村来訪者に、自由に見学していただいている。		○
	八塔寺山荘管理事業	市の観光の振興を図るため、宿泊施設として設置された八塔寺山荘の維持管理。		○
	大池緑地公園管理事業	閑谷学校を訪れる観光客と地域住民の憩いと交流の場として設置された大池緑地公園の維持管理。		○
和意谷管理事業	観光客等の利便性の向上を図ることを目的とした、参道及び墓所の草刈り及び倒木除去等の維持管理。		▲	
八塔寺ふるさと村等管理事業	八塔寺ふるさと村の優れた農村景観を保存するための維持管理。		○	
ダム公園等管理事業	水と緑のやすらぎを主要テーマに住民の憩いの場として、また観光地として地域活性化に寄与することを目的とし設置された八塔寺川ダム公園等の維持管理		▲	
八塔寺ふるさと館管理運営事業	地域における都市住民との交流、過疎からの脱却及び所得の向上を図ることを目的として設置されたふるさと館の管理運営を行う		○	

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	29,378	29,105	27,891
	必要人員	人	0.36人	0.29人	0.37人
	費用計		32,538	31,623	31,524
	国県支出金		3,584	3,584	3,391
受益者負担		15	26	9	
財源	千円				
市					
その他()		698	898	735	
一般財源		28,241	27,115	27,389	
受益者負担比率	%	0.0%	0.1%	0.0%	
結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果内指標	量	各施設への利用延べ人数		
	対前年比	%	153,875	134,208	131,395
	活動コスト	円	32,538,000	31,623,000	31,524,000
	単位当たりコスト		211	236	240

事業の成果							(平成26年度事業)
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値		
		目標値(A)	18,000	18,000	18,000	18,000	
		実績値(B)	153,875	13,420	13,139	到達目標値	
一施設当たり利用者数	達成率(B/A)	85.486%	74.56%	72.99%	毎年度		
成果指標設定の考え方・式や説明							
利用者数/管理施設数(10)							

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >				Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある				効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている				有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業でも成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				C

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	観光客を快くお迎えできるよう、施設の維持管理に努めるべきである。						

総合評価		総合評価
観光施設の適正な維持管理は、観光推進の上で重要なことである。観光客の満足度も考慮しながら、費用対効果による効率的な管理運営を行う必要がある。		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		C

平成28年度の方向性・取組目標							Action
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	費用対効果を検証しながらも、観光客へのおもてなしの心で、施設の維持管理に努めるべきである。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成26年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち
	小項目 施策	28	賑わいをもたらす観光の振興
事務事業名	05	観光施設整備事業	
問	担当課(室)	まち営業課	
合	職・氏名	ブランド観光係長・川平 昌彦	
先	電話	64-1832(274)	
	このシート作成に要した時間	時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光客
目的(何のために)	観光資源を活かすために、有効な観光施設を整備し誘客を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光施設の環境整備

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
夕立受山等整備事業	既存、新規の観光施設の整備等。今年度は該当なし。	○
観光看板等整備事業	お客様にやさしい案内ができるよう看板等を設置する。	○
海水浴場整備事業	観光客、地域住民にきれいな海水浴場で楽しんでいただくため、頭島外輪、大府島宮ノ下、鴻島亀の浦海水浴場の砂浜を敷き均し整備する。	○
観光施設整備工事	伊予市内での事前見学を希望する観光客が不便を感じるように伊予つながり西外環路を整備する。	○

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	8,644	399	11,398
	必要人員	人	0.02人	0.03人	0.19人
	費用計	千円	8,835	703	13,039
	国県支出金	千円			
決算額	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他(一般財源)	千円	8,835	703	13,039
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標名	説明				
結果指標量	新規観光施設整備箇所数		2	1	2
対前年比	%			50.0%	200.0%
活動コスト	千円		8,835,000	703,000	11,960,000
単位当たりコスト	千円		4,417,500	703,000	5,980,000

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
観光施設整備箇所数	成果指標名	目標値 (A)	1以上	1以上	1以上	1以上
		実績値 (B)	2	1	2	到達目標値
		達成率 (B/A)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	適正な整備
成果指標設定の考え方・式や説明						
観光施設の適正な整備						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	C
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
			C

事業の目的や成果指標を留意しながら評価

進行年度(H27年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	○					
備前1日生大橋が開通し、多くの観光客が訪れている。特に頭島島内で観光客による混雑が起きているため、案内看板等の整備を行う必要がある。						

総合評価	
観光資源を有効に生かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。施設整備は計画性を持って年次的に進めて現状維持以上に保つ必要がある。	総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
取組目標	○					
施設整備は、費用対効果を考えながら、計画的に事業を進めて行く必要がある。						

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成26年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち
	小項目 施策	28	賑わいをもたらす観光の振興
事務事業名	06	備前焼振興事業	
問	担当課(室)	まち営業課	
合	職・氏名	ブランド観光係長・川平 昌彦	
先	電話	64-1832(274)	
	このシート作成に要した時間	時間	

Plan

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光関係団体、観光客など
目的(何のために)	全国に誇れる備前焼を観光資源として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前焼伝統産業会館等の利用者増

Do

事業の実績	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するための実施した事業	備前焼伝統産業会館管理運営事業	備前焼伝統産業会館の維持管理に要する経費(指定管理料) 2,100,000円	◎
	備前焼陶友会補助事業	(協)岡山県備前焼陶友会に対する運営活動の補助。500,000円	○
	備前焼まつり補助事業	備前焼まつり実行委員会に対して祭りの運営活動補助。2,000,000円	○
	備前焼振興対策事業	我が国の伝統工芸品である備前焼の伝承、普及を図るため、イベントの開催等により備前焼のPRを行う。	◎
	六古窯サミット事業	日本のやきものを代表する六古窯産地の首長や関係者が一堂に会し、情報交換や、共同事業を通じた交流を行い啓発する。今年度活動なし。	▲
	伝統的工芸品産業振興協会会費	(財)伝統的工芸品産業振興協会への加入負担金。50,000円	▲
	備前焼陶芸センター運営補助事業	備前焼振興のための新商品開発、人材育成、普及促進等を目的とし運営する施設運営の補助。2,500,000円	○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	7,855	7,442	7,156
	必要人員	人	0.32人	0.28人	0.28人
	事業費計	千円	10,341	10,099	9,546
	国庫支出金	千円			
受益者負担	千円				
財源	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	10,341	10,099	9,546	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明	39,992	31,291	31,633
	対前年比	%		78.2%	101.1%
	活動コスト	円	10,341,000	10,099,000	9,546,000
	単位当たりコスト	円	259	323	302

事業の成果	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
備前焼伝統産業会館等の利用者数	目標値(A)		70,000	70,000	70,000	70,000
	実績値(B)		39,992	31,291	31,633	到達目標値
	達成率(B/A)		57.13%	44.70%	45.19%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
備前焼伝統産業会館及び県陶芸美術館入館者数						

Check

事務事業の評価	該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	妥当性評価
妥当性の評価	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い 高い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い 高い
	市民参画度	

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H27年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○						
説明	岡山県備前焼陶友会他関連団体と連携を取りながら、各種媒体を利用し備前焼のPRを行い、備前焼の振興と観光客の誘客を促進する。							

総合評価		総合評価
我が国を代表する伝統工芸品である備前焼を、伝承・普及するための施設管理運営及びイベントによるアピールの事業効果は非常に高い。今後も新たな効果的なPRを行うために観光客のニーズを調査していく必要がある。		総合評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い 低い 高い

Action

平成28年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○						
取組目標	若い人や気軽に立ち寄れるような新たなイベントを開催することで、魅力発信に繋がる。首都圏向けに情報発信を行うことと、外国人向けに外国語表記など「おもてなし」対応を図る必要がある。							

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成26年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目 基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本施策	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち
	小項目 施策	28	賑わいをもたらす観光の振興
事務事業名	07	広域連携事業	
問	担当課(室)	まち営業課	
合	職・氏名	ブランド観光係長・川平 昌彦	
先	電 話	64-1832(274)	
	このシート作成に要した時間	時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	観光関連団体
目 的 (何のために)	観光振興施策の1つとして、近隣地域との連携、協力体制の整備、協働による観光客誘致を目的とした広域連携を推進するため。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	観光PR回数の増

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目 的 的 達 成 率 達 成 率 達 成 率 達 成 率 達 成 率	細 事 業 名	事業の説明		優先度
	JR赤穂線沿線地域活性化負担金	兵庫県と岡山県が事務局を持ち回り、相生市、赤穂市、備前市、瀬戸内市、4市観光協会が構成されたJR赤穂線沿線地域活性化連絡会議への負担金500,000円		○
	東備広域観光推進協議会負担金事業	広域連携でのPRを図るため190,000円の負担を行う。		○
	東備広域観光推進協議会運営事業	事務局は備前市で東備地域の備前市、赤磐市、和気町、商工会議所、商工会観光協会が連携した広域観光の推進を行う。		○
	岡山県観光連盟負担金事業	備前県観光連盟が事務局で観光推進を目的として備前県民局、各市、岡山県観光物産課で組織し、着地型観光の促進、教育旅行の誘致活動、Web等を活用した有効な有効なPRを行う。		◎
JR赤穂線沿線地域活性化事業	兵庫県と岡山県が事務局を持ち回り、相生市、赤穂市、備前市、瀬戸内市、4市観光協会等で構成されたJR赤穂線沿線地域活性化連絡会議において沿線地域の活性化対策を行う。		○	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決 算 額	事業費	千円	1,069	1,069	1,069
	必要人員	人	0.14人	0.94人	0.19人
	事業費	千円	2,350	3,041	2,427
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	2,350	3,041	2,427	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標名	説明	広域で連携したイベント等でのPR回数		
	結果指標量		9	13	15
	対前年比	%		144.4%	115.4%
	活動コスト	円	2,350,000	3,041,000	2,427,000
	単位当たりコスト	円	261,111	233,923	161,800

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	目標値 (A)		10	10	10	10
	実績値 (B)		9	13	15	到達目標値
	達成率 (B/A)		90.00%	130.00%	150.00%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
広域的な団体で連携した物産展、イベントの開催、PR活動など						

Check

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C	

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度 (H27年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		状況	○						
説明		岡山県、兵庫県とも連携し、東備地域、JR赤穂線沿線等広域連携を活用して備前市だけではPRできない広域的な観光素材を結びつけ、魅力ある情報発信を効果的なPRを行う。							

総合評価		総合評価
観光振興施策を実施する上で、効果的な情報収集や宣伝活動を行うためには、広域連携は重要である。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		方向性	○						
取組目標		広域連携を活用して他団体との連携を密にしてインターネットなどデジタル媒体の活用により、有効性の高いPRを行っていく必要がある。							

Action